

## ○一般社団法人 日本森林学会 2022 年度第 4 回（通算第 483 回）理事会 議事録

日時：2022 年 12 月 9 日（金）13:00～17:30

場所：日林協会館 5 階中会議室、Web 会議システム（Microsoft Teams）を併用して開催

開催者：丹下 健

出席者：会長）丹下 健，副会長）太田祐子，正木 隆，連携学会長）今 博計（会長代理），山本信次，逢沢峰昭（会長代理），戸丸信弘，長島啓子（会長代理），溝上展也（会長代理），理事）陣川雅樹，伊藤 哲，山中典和，溝上展也，石崎涼子，長池卓男，井上真理子，小杉緑子，久保田多余子，泉 桂子，黒田慶子，船田 良，枚田邦宏，大久保達弘，小山泰弘，梶本卓也，深町加津枝，監事）福田健二，主事）小田智基，吉藤奈津子，星野大介，鶴田燃海，森 英樹，杉浦克明，玉井幸治，稲永路子，長谷川陽一，檀浦正子，櫃間 岳，園原和夏，編集部）町田庸子 [学会誌刊行センター]，事務局）稲村崇子，オブザーバー）高木美貴 [林野庁]，棚橋生子 [全林試協]（代理）

議長：丹下 健

Web 会議システム（Microsoft Teams）にて出席者全員が問題なく参加できており，出席者が適時的確な意見表明が互いにできることを確認し，議案の審議に入った。

### 審議事項：

本理事会で議論・決定された事項は以下のとおりである。

#### 1. 第 136 回大会（北海道大会）の開催機関について

陣川理事（総務担当）より，第 136 回大会（北海道地区）の開催機関を北海道大学，大会運営委員長を渋谷正人会員（北海道大学）としてよいか提案され，提案の通り承認された。

#### 2. 2023 年度総会の開催方法

陣川理事（総務担当）より，2023 年度定時総会は利便性を考慮して，現地と Web 会議の同時開催としてよいか提案され，提案のとおり承認された。

#### 3. 2023 年度学会各賞受賞者の決定

表彰委員会，JFR 編集委員会，日林誌編集委員会での日本森林学会賞，日本森林学会奨励賞，日本森林学会学生奨励賞，JFR 論文賞，日本森林学会論文賞の選考結果と受賞候補者が小杉理事，溝上 JFR 編集担当理事，逢沢日林誌副編集委員長からそれぞれ報告された。審議の結果，日本森林学会賞を浅野友子会員（東京大学），石塚成宏会員（森林総合研究所）に，日本森林学会奨励賞を今村直広会員（森林総合研究所），経隆 悠会員（森林総合研究所），芳賀和樹会員（東京大学）に，日本森林学会学生奨励賞を小林慧人会員（投稿時：京都大学 応募時：森林総合研究所），堀田 亘会員（投稿時：北海道大学 応募時：北海道大学），峰尾恵人会員（投稿時：京都大学 応募時：京都大学）にそれぞれ授与することを決定した。また，JFR 論文賞を Motoshi Hiratsuka, Chaloun Bounithiphonh, Phonevilay Sichanthongthip, Miki Toda, Natsuko Kobayashi, Hozumi Hashiguchi, Chanhsumone Phongoudome による論文（26 巻 3 号 278-286 頁）に，日本森林学会論文賞を美濃羽靖・和田誠・田中紡による論文（103 巻 351-360 頁）と TAN JIAZE・道中哲也・立花敏による論文（104 巻 74-81 頁）にそれぞれ授与することを決定した。

第 134 回大会における学生ポスター賞の選考委員会が提案され、提案のとおり承認された。学生ポスター賞の応募は 187 件で、18 名へ学生ポスター賞を授与予定であることが報告された。

#### 4. 「2-6 日本森林学会誌編集委員会内規」の改訂

長池理事（日林誌編集担当）より、編集委員の推薦方法について、複数の編集委員で構成される担当審査分野では異なる所属の編集委員により構成する改訂案が提案され、提案の通り承認された。

#### 5. 「日本森林学会誌投稿規定」の改訂

長池理事（日林誌編集担当）より、利益相反の具体例を追記する改訂案が提案され、提案の通り承認された。

#### 6. 「J-STAGE Data での論文データ公開について」の改訂

長池理事（日林誌編集担当）より、メタデータにおける研究ファンド名の記載方法およびクレジットの記載方法、公開スケジュールを追記する改訂案が提案され、提案の通り承認された。

#### 7. 会員区分「帰国留学生会員」の新設の提案

大久保理事（国際交流担当）より、帰国留学生の帰国後の研究活動の支援とそれぞれの地域国の森林科学の発展に資することを目的とした、日本森林学会「国際交流の基本方針」の策定及び、会員区分「帰国留学生会員」の新設が提案されたが、会員区分の新設のためには会員規則を改訂し総会に諮る必要があるため、まずは臨時委員会を設置し、会員規則の改定案を検討することとなった。

#### 8. 中等教育連携推進のための『森林科学』誌の活用

石崎理事（森林科学編集担当）より、廃棄予定となっている『森林科学』誌の過去号在庫を森林に関連する高校の学科や、森林に関連する高校の生物クラブ等に無料配布することが提案され、提案の通り承認された。

#### 9. 高校生の大会無料参加の特例について

太田理事（中等教育推進担当）より、高校生ポスター発表実行委員会で承認した高校の大会無料参加（聴講のみ含む）を特例として認めることが提案され、提案の通り承認された。

#### 10. 前回までの議事録

2022 年度第 3 回（通算第 482 回）理事会議事録が承認された。

#### 11. 次回理事会の開催日程

次回の理事会は、会場とオンラインを併用して、2023 年 4 月に開催することが承認された。

#### 報告事項：

本理事会で報告された事項は以下のとおりである。

#### 1. 第 134 回大会（鳥取大学）の準備状況

山中理事（大会担当）より、134 回大会（鳥取大学）の大会スケジュール、公開シンポジウム、大会参加者の交流ツール（Ovice）の導入、公開シンポジウム関連のパネル展の開催について報告された。

梶本理事（プログラム編成担当）より、第 134 回大会の発表申し込み総数が 727 件あったこと、大会のタイムテーブル、今後のスケジュールについて報告された。

## 2. 連携学会からの報告

各連携学会の会長及び会長代理より、役員体制、総会・大会の開催、刊行事業、表彰制度、会員数の動向、財政状況等について報告されるとともに、会員の構成や学会誌の電子化について意見交換を行った。

## 3. 臨時委員会「新たな森林科学分野創出委員会」の設置について

正木副会長より、新たな森林科学分野の創出を目指す取り組みを進めるため、30 代の若手研究者を中心とした臨時委員会「新たな森林科学分野創出委員会」を設置する提案があり、委員の分野構成のバランスや公設林試の研究員の参加、大会での若手中心の企画開催等の意見が出された。今後審議事項としてまとめ、後日改めて理事会に諮ることとなった。

## 4. 総務担当からの報告

陣川理事より、第 135 回大会の準備状況、会員名簿の作成状況、会員名簿の印刷・配布を廃止し、事務局で使用しているデータベース管理のみとすること、日本農学会「総会・日本農学賞選考会」の開催日程と出席者、シンポジウム等 3 件の後援依頼承認、会員動向について報告された。

## 5. 広報担当からの報告

正木理事より、ウェブサイトの更新・新規追加状況、ツイッターの運用状況、メールマガジン発行状況について報告された。

## 6. 表彰担当からの報告

小杉理事より、日本農学賞への応募が無かったこと、第 134 回大会の学生ポスター賞審査スケジュールについて報告された。

## 7. 会計担当からの報告

伊藤理事より、第 133 回大会（山形大学）会計収支、2022 年度半期決算、会費区分変更に伴う会費収入が 73 万円程度の減額になる見込みであることが報告された。

## 8. 企画担当からの報告

井上理事より、第 134 回大会における学会企画として中等教育連携推進担当、国際交流担当、ダイバーシティ推進担当、企画・国内研究機関連携担当から提案があり、開催方法や日程の調整を行っていること、企画委員会の開催、臨時委員会「大学教育検討委員会」の開催、2023 年度の森林学会総会時の公開シンポジウムを準備中であることが報告された。

## 9. 日林誌編集担当からの報告

長池理事より、投稿審査状況、J-STAGE Data におけるデータの公開状況、論文賞の選考結果、

日本森林学会誌第 105 巻表紙写真の選考状況、オンラインジャーナル化に伴う前付・記事の掲載冊子の変更、「日本森林学会誌の編集・審査プロセスにおける原則」に掲載原稿の著者からの申出に基づく訂正・撤回の手続きを追加したことが報告された。

#### 10. JFR 編集担当からの報告

溝上理事より、出版状況、特集号・Invited Review の掲載予定、「4-6-2 Nomination Procedure of the JFR Award」を「2-3 Journal of Forest Research 論文賞審査・選考内規」の改定に合わせて修正したこと、2023 年中に JFR 投稿プラットフォームを Submission Portal に変更すること、LONGDOM 社の発行する「Forest Research」誌の Web 上でのヘッダー名が「Journal of Forest Research」になっており、Taylor & Francis 社を通じて抗議したが返答がなく、次の対応として学会から抗議文を送ること、冊子体表紙のレイアウトを変更し、Editorial Board を削除、ジャーナル情報を Front cover に移動、Table of contents を中ページのトップに移動することが報告された。

#### 11. 森林科学編集担当からの報告

石崎理事より、森林科学 96 号の発行状況、97 号、98 号、99 号の発行準備状況が報告された。

#### 12. ダイバーシティ推進担当からの報告

久保田理事より、第 20 回男女共同参画学協会連絡会シンポジウムでのポスター発表、第 21 期男女共同参画学協会連絡会総会・運営委員会への出席予定、第 134 回大会における託児等費用補助の実施、第 134 回大会における学会企画シンポジウム及び会員サポート企画を開催予定であることが報告された。

#### 13. JABEE 担当からの報告

枚田理事より、第 134 回大会における学会企画として都道府県の林業関係の試験・研究機関に関する公開シンポジウムを実施し、CPD プログラムとする予定であること、2022 年 11 月 25 日～28 日に開催された大学教育検討委員会について報告された。

#### 13. 林業遺産担当からの報告

深町理事より、2022 年度の林業遺産候補の推薦数が 3 件あったこと、今後の選定スケジュール、2022 年度林業遺産事業の林野庁からの後援が承認されたことが報告された。

#### 14. 中等教育連携推進担当からの報告

太田理事より、第 134 回大会における第 10 回高校生ポスター発表に発表申し込みが 27 件あったこと、第 10 回高校生ポスター発表の実行委員及び審査委員会の体制、大会企画として高校生ポスター企画「大学での森林の学びや研究を知ろう－高校生と大学生との交流－」を実施予定であることが報告された。

議事録作成者：陣川雅樹，小田智基